

日本生涯教育学会

第43回大会プログラム

The Japan Association of Lifelong Education

2022. 11. 26 (土)
11. 27 (日)

主 催 日本生涯教育学会
共 催 国立教育政策研究所
社会教育実践研究センター

社会教育実践研究センター来所の際の留意点

来所して参加される方については、以下の留意点をよくご覧ください。

《来所時の留意点》

- 来所に当たっては、公共交通機関をご利用ください。（当センターに駐車場、駐輪場はありませんので、お車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用願います。）
- 当センター内は禁煙です。
- 当センターには食堂施設がありません。近隣のコンビニエンスストアをご利用いただくか、あらかじめ昼食の用意をしてきてください。
- 会場は、3階が中心になりますが、当センターにはエレベーターはありません。車椅子の場合、昇降機の準備が必要になりますので、ご利用希望の場合は、申込時に別途ご連絡ください。
- 発表等の録音・撮影は、許可がない限りはご遠慮ください。
- フォーラム中及び発表中には、携帯電話・スマートフォンは、電源を切るかマナーモードに設定してください。

《新型コロナウイルス感染対策について》

- 受付時、検温を行います。
- マスクの着用、手洗い、咳エチケットの励行、こまめなアルコール消毒など、各自での新型コロナウイルス感染防止対策に十分ご注意ください。なお、各所にアルコール消毒のスプレーを設置しますので、適宜ご利用ください。
- マスクについては、各自で用意し、しっかりと鼻や口を覆うように正しく着用してください。

《飲食について》

- 館内での飲食は黙食にご協力ください。衛生上、個人で飲食するもの以外の食料品・菓子類の持ち込みはご遠慮ください。
- 当センター内で飲食する場合は講堂、1階、3階のロビーをご利用ください。
- 1階中庭も、休憩時間等自由にご利用ください。
- 食事が終わった後の弁当の殻は、「弁当殻入」に入れてください。「燃やせるゴミ」、「燃やせないゴミ」、「ペットボトル・缶」、「弁当の殻」の4つの分別にご協力いただき、生ごみ（特に汁等）が出ないようにお願いします。
- 自動販売機は、1階、3階ロビーに設置しています。

日本生涯教育学会第43回大会開催要項

1 大会期日（受付・オンライン入室可）

- 1日目 11月26日（土） 受付11:00～ 開会式 13時30分～
2日目 11月27日（日） 受付 9:00～ 総会 9時30分～

2 主催 日本生涯教育学会

3 共催 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター

4 大会参加費 会員・非会員（臨時会員）共に無料

5 学会費 会員は受付で学会費の納入を受け付けます。年会費は8,000円です。

6 会場 [主会場]

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-43 TEL 03-3823-8683

※ 参集とオンラインを併用したハイフレックス方式で実施

7 大会日程

1日目 11月26日（土） ※ 参集と一部オンライン中継との併用（ハイフレックス方式）

- 1 評議員会（10:00～10:45）
- 2 全国理事会（10:50～11:30）
- 3 受付（11:00～）
- 4 テーマカフェ（11:30～12:30）
- 5 研究発表（12:00～13:00）※ 展示発表：発表・意見交換
- 6 開会式（13:30～13:40）
- 7 生涯学習政策研究フォーラム（13:50～15:50）
テーマ「リカレント教育50年の展開と課題の超克」
- 8 研究発表（16:00～17:40）※ 自由研究部会：発表
- 9 情報交換・懇親会（18:00～18:50）

2日目 11月27日（日） ※ 参集と一部オンライン中継の併用（ハイフレックス方式）

- 1 受付（9:00～）
- 2 総会（9:20～9:50）
- 3 研究発表（10:15～11:45）※ 生涯学習実践事例研究部会：発表
- 4 新理事会（12:20～12:50）
- 5 研究発表（12:00～13:00）※ 展示発表：発表・意見交換
- 6 研究発表（13:00～15:00）※ 自由研究部会：発表
- 7 会長賞表彰式（15:10～15:20）
- 8 閉会式（15:20～15:30）
- 終了（～15:30）

8 大会日程表

		午前			午後						
1日目 11月26日 (土)		評議員会 10:00～10:45	全国理事会 10:50～11:30	テーマカフェ 11:30～12:30	休憩・移動	開会式 13:30～13:40	生涯学習政策 研究フォーラム 13:50～15:50	休憩・移動	《研究発表》 自由研究部会 16:00～17:40	休憩・移動	情報交換 ・懇親会 18:00～18:50
				《研究発表》 展示発表 (意見交換) 12:00～13:00							

		午前			午後				
2日目 11月27日 (日)	総会 9:30～10:00	《研究発表》 生涯学習実践 事例研究部会 10:15～11:45	休憩・移動	新理事会 12:20～12:50	《研究発表》 展示発表 (意見交換) 12:00～13:00	《研究発表》 自由研究部会 13:00～15:00	休憩・移動	会長 表彰式 15:10～15:20	閉会式 15:20～15:30
				【受付】9:00～					

9 留意事項

(1) 大会の参加について

- 大会の参加については、対面参加・オンライン参加を問わず、参加申込みフォームからの申込みが必要となります。(別紙参照)
- 当日のZoomに参加するためのURL等の連絡については、大会参加申込みフォームに記載されているメールアドレスに送信しますので受取可能なメールアドレスを入力してください。

(2) 開催方法の変更について

- 今後の感染拡大の状況によっては、全面的なオンライン化も含め、実施方法が変更になる場合がありますのであらかじめご了承ください。その場合、参加方法等については後日、連絡することとしております。
- 全面オンライン開催となった場合、参集のみで実施予定のテーマカフェは中止となります。また、展示発表については、ライブ配信による発表とし、その際は、展示発表用のURL等を大会参加申込フォームに記載されているメールアドレスに送信します。

10 大会に関する連絡先

第43回大会実行委員会事務局 confc@j-lifelong.org

大会概要 1日目（11月26日 土曜日）

《日程一覧》

時間	内容	会場・備考等
9:30～	評議員・理事等関係者受付開始 書籍・資料配布、販売等	1F玄関ホール 1Fロビー
10:00～10:45	評議員会	2F実習室
10:50～11:30	全国理事会	2F実習室
11:00～	参加者受付開始	1F玄関ホール
11:30～12:30	テーマカフェ	3F第2セミナー室 3F第3セミナー室 3Fロビー
12:00～13:00	研究発表（展示発表：意見交換）	3Fロビー
13:30～13:40	開会式	3F講堂
13:50～15:50	生涯学習政策研究フォーラム 「リカレント教育50年の展開と課題の超克」	3F講堂
16:00～17:40	研究発表（自由研究部会Ⅰ）	3F講堂 3F第1セミナー室 3F第2セミナー室
18:00～18:50	情報交換・懇親会	2F実習室

1 評議員会（10:00～10:45）（ハイフレックス方式） 2F 実習室

2 全国理事会（10:50～11:30）（ハイフレックス方式） 2F 実習室

3 テーマカフェ（11:30～12:30）（参集のみ） 3F 第2セミナー室・第3セミナー室・ロビー

会員による研究や交流の活性化を目的とした交流会とします。

特に年齢制限等は設定せず、会の趣旨を理解していただける方であれば誰でも参加可能として実施します。いくつかのテーマを設定し、興味のあるテーマの部屋に自由に行き来できるようなカフェの雰囲気交流できるようにしたいと考えています。

これまであまり交流の機会がなかった会員等に、コーヒーを片手にそれぞれの研究や学会との関わりを紹介してもらいながら、研究上の課題や学会のあり方等のテーマに沿って、自由に話し合う会としたいと考えています。

4 展示発表（12:00～13:00）（参集のみ） 3F ロビー

概要：ポスターセッション（発表者の口頭報告と意見交換）

時間	コード	題目	発表者（所属）
12:00～ 13:00	III-22	通信制高校における学校資料の活用	八田 友和 (クラーク記念国際高等学校)

5 開会式（13:30～13:40）（ハイフレックス方式） 3F 講堂

概要：坂口会長挨拶、諸連絡

テーマ：「リカレント教育50年の展開と課題の超克」

概要：本年の学会大会におけるフォーラムでは、リカレント教育のこれまでの政策的展開、成果と課題についての意見交換を通じ、リカレント教育の今後を考究します。

世界的には、1973年にOECDによるリカレント教育の提唱から今年で約50年が経過します。また、日本では、生涯学習の基盤整備が進められていた1992年の生涯学習審議会答申においてリカレント教育が提唱されてから30年となります。現在の「社会人の学び直し」政策は、まさにリカレント教育の考え方が根底にあります。これまで50年にわたるリカレント教育の推進はどのような成果をもたらし、また、どのような課題を提起しているか。本フォーラムでは、個人のキャリア形成とともに、社会の維持・発展に寄与するリカレント教育の将来展望を議論します。

登壇者：神山 弘 氏 (文部科学省生涯学習推進課長)
 山口 理栄 氏 (青山学院大学プロジェクト教授)
 岩崎 久美子 氏 (放送大学) 学会員
 コーディネーター：
 小川 義和 氏 (国立科学博物館) 学会員

7 自由研究部会 I (16:00~17:40) (発表9件：ハイフレックス方式)

【Aグループ】

司会 原田 亜紀子 (広島大学)

3F 講堂

時間	コード	題目	発表者 (所属)
16:00~ 16:30	I-3	1950年代後半における家庭教育の模索 —雑誌『母と子』を事例として—	山梨 あや (慶應義塾大学)
16:30~ 17:00	I-2	地域が学校と協働関係を築く意味 —主体形成をめぐる微視的分析—	大木 由以 (青山学院大学)
17:00~ 17:40	V-1	PBL科目における授業実施前後及び毎時の学生の 自己評価の変化に関する研究	○郡谷 寿英 (北海道科学大学) 出口 寿久 (北海道科学大学)

【Bグループ】

司会 阪本 陽子 (文教大学等・台東区社会教育主事)

3F 第1セミナー室

時間	コード	題目	発表者 (所属)
16:00~ 16:30	II-8	社会教育関係職員のコンピテンシーに関する成人教 育学的検討	山本 竜司 (放送大学大学院)
16:30~ 17:00	II-6	公共図書館の望ましい基準から見た社会教育関係法 規の要請度：試論	薬袋 秀樹 (筑波大学名誉教授)
17:00~ 17:30	II-11	社会教育実践におけるソーシャル・キャピタル論の 更なる可能性に向けて	神田 雅貴 (埼玉県川島町教育委員会)

【Cグループ】

司会 青木 康太郎（國學院大學）

3F 第2セミナー室

時間	コード	題 目	発表者（所属）
16:00～ 16:30	II-8	都内公立学校における外部人材活用	桜庭 望 (公益財団法人東京学 校支援機構)
16:30～ 17:00	III-5	国際学生コロキウムのオンライン化が参加者に与える影響	朝倉 隆道 (広島大学)
17:00～ 17:30	III-34	高齢期の豊かなエイジングと教育に関する考察	神部 純一 (滋賀大学)

8 情報交換・懇親会（18:00～18:50）（ハイフレックス方式）**2F 実習室**

テーマ：「全国生涯学習関係者と語り合おう」

趣 旨：会員同士の研究交流やネットワークづくりのための時間を設けます。
久々に直接顔を会わせ、生涯学習，社会教育について語り合しましょう。

参加費：100円（会場で徴収）

留意点：お茶等の飲み物（アルコールでないもの）を実行委員会で準備して、みなさまのご参加をお待ちしております。食べ物の提供はございませんが、お持込みもご遠慮いただきますようお願いいたします。

大会概要 2日目 (11月28日 日曜日)

時間	内容	会場・備考等
9:00～	受付	1F玄関ホール
9:30～10:00	総会	3F講堂
10:15～11:45	研究発表 (生涯学習実践事例研究部会)	3F講堂
12:20～12:50	新理事会	2F会議室
12:00～13:00	研究発表 (展示発表：意見交換)	3Fロビー
13:00～15:00	研究発表 (自由研究部会Ⅱ)	3F講堂 3F第1セミナー室 3F第2セミナー室
15:10～15:20	会長賞表彰式	3F講堂
15:20～15:30	閉会式	3F講堂

1 総会 (9:30～ 10:00) (ハイフレックス方式)

3F 講堂

2 生涯学習実践事例研究部会(10:15～11:45) (発表3件：ハイフレックス方式)

司会 石津 峰 (社会教育実践研究センター) **3F 講堂**

時間	コード	題目	発表者 (所属)
10:15～ 10:45	I-3	千葉県東部における自然と人の関わりを知る野外体験活動：放送大学の面接授業としての生涯学習	植木 岳雪 (帝京科学大学)
10:45～ 11:15	I-2	コミュニティ・スクールの活用による地域のレジリエンスの構築 ー子どもの視点を取り入れた実践的な防災教育の取組からー	松浦 賢一 (北海道教育庁)
11:15～ 11:45	V-1	やまぐち若者MY PROJECTの実践 ーやまぐち未来アカデミアよりー	藤村 寿 (公益財団法人山口県ひとづくり財団県民学習部生涯学習推進センター)

3 展示発表 (12:00～13:00) (参集のみ)

3F ロビー

概要：ポスターセッション (発表者の口頭報告と意見交換)

時間	コード	題目	発表者 (所属)
12:00～ 13:00	Ⅲ-22	通信制高校における学校資料の活用	八田 友和 (クラーク記念国際高等学校)

4 自由研究発表Ⅱ (13:00～15:00) (発表12件：ハイフレックス方式)

【Dグループ】

司会 山梨 あや (慶應義塾大学) **3F 講堂**

時間	コード	題目	発表者 (所属)
13:00～ 13:30	Ⅱ-6	コミュニティセンター等地域コミュニティ施設の実態分析	出口 寿久 (北海道科学大学)

時間	コード	題 目	発表者 (所属)
13:30～ 14:00	II-9	学習における自己変容経験が他者への寛容さに及ぼす影響 (2) : エピソードの分析	木暮 照正 (福島大学)
14:00～ 14:30	II-3	公民館における兼務職員の実態	井上 伸良 (創価大学)
14:30～ 15:00	II-1	学びと地域づくりの循環における学習支援者の役割 ー広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」の社会的成果の検証ー	山川 肖美 (広島修道大学)

【Eグループ】 **司会 渋谷 恵 (明治学院大学) 3F 第1セミナー室**

時間	コード	題 目	発表者 (所属)
13:00～ 13:30	III-22	学び直し機関としての専門学校に関する考察	船木 茂人 (文部科学省)
13:30～ 14:00	III-22	教職課程履修者のICT活用指導力の現状と課題 ーSociety5.0時代に求められる力と今後の教員養成ー	藤原 靖浩 (関西福祉科学大学)
14:00～ 14:30	III-22	公立中学校における部活動地域コーディネーターの役割と課題：関東地区A市における実践を通して	○中村 豊 (東京理科大学) 片上健太郎 (宝塚市教育委員会) 川口 厚 (桃山学院大学)
14:30～ 15:00	III-22	中学校部活動の地域移行に向けた体制整備に係る現状と課題に関する検討 ー関西地区X市の取り組みを通してー	○川口 厚 (桃山学院大学) 片上健太郎 (宝塚市教育委員会) 中村 豊 (東京理科大学)

【Fグループ】 **司会 神部 純一 (滋賀大学) 3F 第2セミナー室**

時間	コード	題 目	発表者 (所属)
13:00～ 13:30	III-32	学生による地域学への挑戦 ～堀川400周年記念 サービス・ラーニング・プロジェクト～	山田 明 (九州共立大学)
13:30～ 14:00	IV-3	ウェルビーイングを目指す子どもの放課後支援におけるアドバイザーについてのー考察 ー体験活動が育む異世代の学び合いからー	茂野 賢治 (東京工芸大学/ 一般社団法人横浜すばいす)
14:00～ 14:30	IV-1	千葉県北西部の中年男性の地域貢献活動について ー行政の計画等における位置づけー	森 勲男 (鎌ヶ谷市役所)
14:30～ 15:00	IV-3	地域と大学 (学生) の相互「関係人口」化を目指した教育プログラムの構築に関する検討	高橋 利行 (宮崎大学)

5 会長賞表彰式 (15:10～15:20) (ハイフレックス方式)

3F 講堂

6 閉会式 (15:20～15:30) (ハイフレックス方式)

3F 講堂

研究領域・研究分野コード一覧表

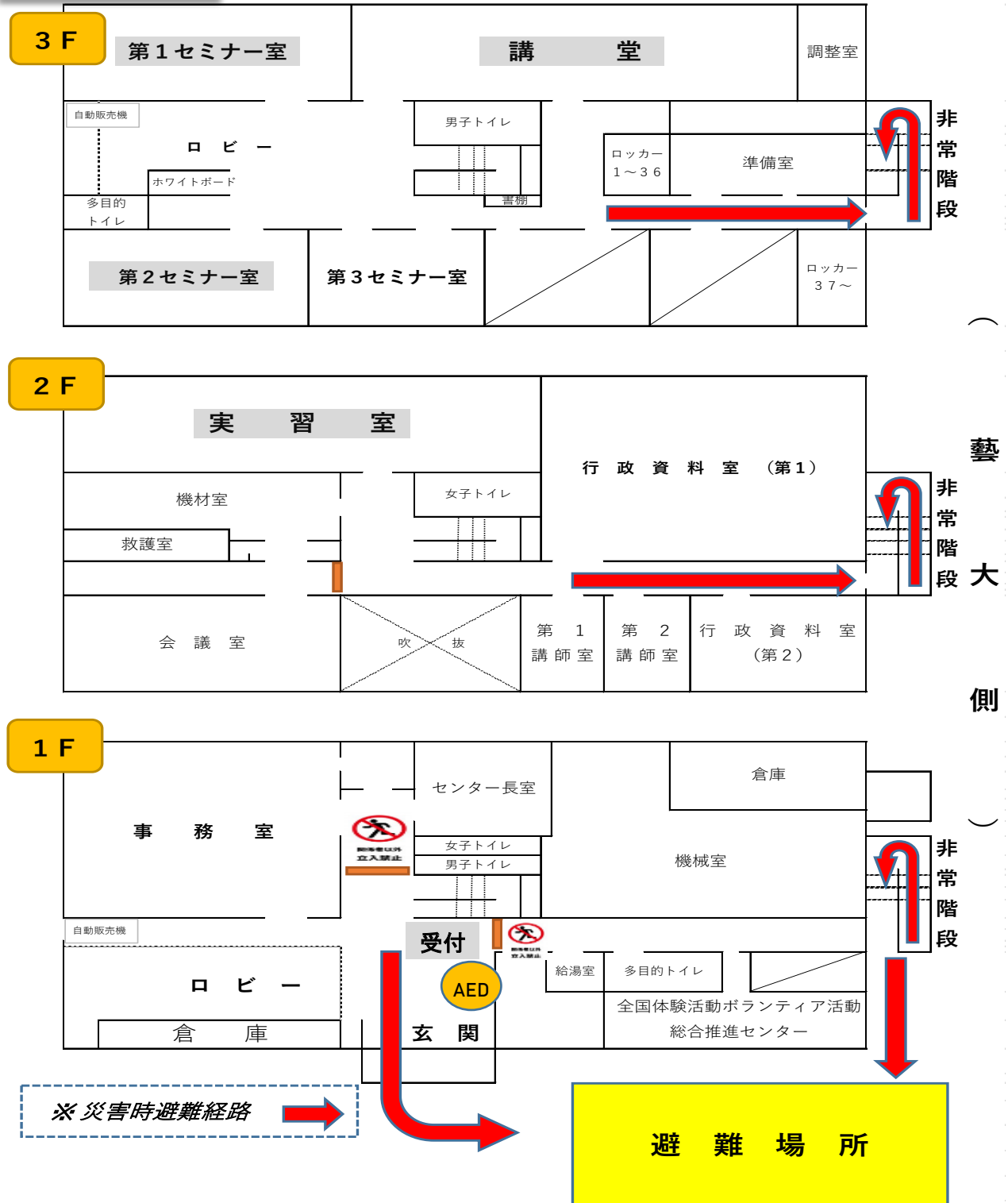
〔研究領域〕	〔研究分野〕
I. 生涯学習研究	1. 生涯学習理論 2. 生涯学習研究方法論 3. 生涯学習史 4. 生涯発達論 5. 生涯学習内容・方法論
II. 生涯学習支援研究	1. 生涯学習振興・推進論 2. 生涯学習支援システム論 3. 生涯学習行財政論 4. 学習情報論 5. 学習相談論 6. 生涯学習関連施設論 7. 学習機会提供論 8. 生涯学習人材論 9. 生涯学習評価論 10. 学習成果活用論 11. その他の生涯学習支援研究
III. 生涯教育研究	1. 生涯教育理論 2. 生涯教育領域論 21. 家庭教育論 22. 学校教育論 23. 社会教育論 24. 生涯スポーツ・社会体育論 25. 企業教育論 26. 遠隔教育論・放送教育論・通信教育論 3. 生涯各期の教育・学習論 31. 乳幼児教育・学習論 32. 青少年教育・学習論 33. 成人教育・学習論 34. 高齢者教育・学習論 4. 女性の生涯教育・学習論 5. 各国の生涯教育・生涯学習
IV. 総合・複合研究	1. 総合・複合研究生涯学習 2. 社会論マスコミ文化論 3. 現代的課題研究
V. 実践事例研究	1. 実践事例研究

- (1) 各研究発表に付されているコードは、上記の表によるものです。
- (2) コードは発表申込者の申請によるものです。ただし記入のないものは委員会の判断でコードを付し、また2つ以上記入のあるものは主なもの1つのみを付してあります。
- (3) 所属は原則として発表申込者の申請によるものです。

火災発生時

館内案内図及び災害時避難経路

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター



当センターでは、災害時の人命確保、被害軽減を図るため、「災害時避難経路」を定めています。地震等の緊急時には、当センター職員の指示に従って避難してください。安全に十分留意し、落ち着いて適切な行動がとれるよう心掛けてください。受講者の皆様の御協力をお願いいたします。



国立教育政策研究所

社会教育実践研究センターへのアクセス



国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター

〒110-0007

東京都台東区上野公園12-43

03-3823-0241

- ・JR山手線、JR京浜東北線「鶯谷駅」南口より徒歩10分
- ・JR各線、JR新幹線各線、東京メトロ銀座線、日比谷線、京成線「上野駅」公園口より徒歩15分
- ・東京メトロ千代田線「根津駅」1番出口より徒歩15分

